



平成 30 年 3 月 9 日

各 位

会社名 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド
代表者 代表取締役社長 寺田 和正
(コード番号 7829: 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 菅原 隆司
(TEL 03-6400-5524)

特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正 及び役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 2 月期において、下記の通り特別損失が発生いたします。その概要をお知らせするとともに、平成 29 年 10 月 6 日付で公表しました平成 30 年 2 月期（平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日）の通期連結業績予想について、最近の業績動向を踏まえ下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及び内容について

当社は、当期以降の収益性を改善するため、選択と集中による事業再編として低採算のブランド及び店舗の整理を実施し、棚卸資産並びに店舗造作設備について減損処理を行ない、特別損失として 25 億 7 百万円を計上することといたしました。

2. 平成 30 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日）

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,541	146	70	36	1.02
今回修正予想(B)	32,180	△1,640	△1,750	△3,620	△102.56
増減額(B-A)	△3,361	△1,786	△1,820	△3,656	
増減率(%)	△9.5	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (平成29年2月期)	35,446	52	445	△470	△13.33

3. 修正の理由

売上高については、生産物流において従来から生じ継続している納期出荷遅延による機会損失や、事業再編に伴う店舗の整理を開始した結果、前回予想を下回る見通しとなりました。

営業利益及び経常利益については、上記売上高の見通しに加え、今回の事業再編に伴い特別損失に計上した以外の損失を売上原価や販売費及び一般管理費に計上したことにより、前回予想を下回る見通しとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、上記売上高、営業利益及び経常利益の見通しに加え、上記 1. の特別損失の発生により、前回予想を下回る見通しとなりました。

今後につきましても個人消費が停滞する厳しい商環境が予想されますが、事業再編による財務体質の健全化、事業体質の強化により、市場及び商圈の変化へ対応した経営に努めてまいります。

4. 配当予想の修正について

株主配当につきましては、安定的な配当を行う基本方針に変更はございません。よって期末配当につきましては、当初公表のとおりそれぞれ1株当たり5円づつの配当を予定しております。

5. 役員報酬の減額について

当社は本日開催の取締役会において、この度の通期連結業績予想の修正内容を真摯に受け止め経営責任を明確にするため、下記のとおり役員報酬の減額について決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 報酬減額の内容	代表取締役社長	寺田 和正	月額報酬の全額
	専務取締役	藤田 雅章	月額報酬の50%
	取締役	菅原 隆司	月額報酬の50%

2. 報酬減額の対象期間	平成30年3月から平成30年5月まで
	※上記期間は暫定とし、今後の経営状況を鑑みて取締役会で決定いたします。

(注) 本資料に記載されている業績等の予想数値につきましては、本資料の発表日現在において得られた入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上